

2020年8月7日発行 編集人:須田千晶
 〒169-0072東京都新宿区大久保2-4-12
 新宿ラムダックスビル12F
 phone:03-5155-8940/fax:03-5155-8941
 saturn@kousakusha.co.jp
 http://www.kousakusha.co.jp

最新情報はこちら ▶ Facebook / Twitter

哲学 ご担当者様

9月新刊

ひとつの樹からはじまる、西洋思想史

古代ギリシア論理学&哲学のエッセンスを示す図「ポルフィリオスの樹」。その図は、中世神学全盛期をへて、近代科学の誕生、記号論理学や論理実証主義の発展など、西洋思想史をつらぬいてきた。その抽象構造をめぐる。



▼注文口に搬入します。

▼申込締切8月31日

9月新刊	注文返条付	冊	様	ご担当	図解き論理的哲学史逍遙 ●山下正男 ISBN978-4-87502-520-7 C1010 定価 本体2400円+税 工作舎 ▶ phone:03-5155-8940 / fax:03-5155-8941

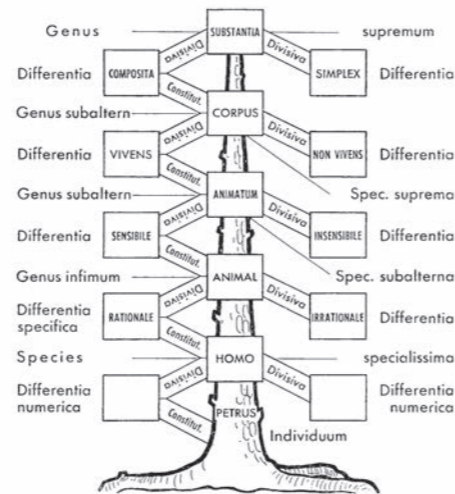
人気図書	注文返条付	冊	様	ご担当	平行植物 新装版 ●レオ・レオーニ ISBN978-4-87502-435-4 C0097 定価 本体2200円+税 工作舎 ▶ phone:03-5155-8940 / fax:03-5155-8941

ポルフィリオスの樹にはじまる 図解き論理的哲学史逍遙 山下正男

- 定価 本体2400円+税
- 四六判上製/240頁
- ISBN978-4-87502-520-7 C1010

- ・プラトンの二分法
- ・アリストテレスの工具
- ・エウクレイデス『幾何学原論』
- ・ニュートン『プリンキピア』
- ・プールの論理学を、めぐる…

「ポルフィリオスの樹とは」
 古代ギリシア末期の新プラトン派哲学者ポルフィリオス名が付けられた樹形図で、古代ギリシアのエッセンスが込められた。時代が進むにつれて、剪定されながら、西洋思想の根幹に生き続けた。



【著者紹介】
 やました まさお: 京都大学人文科学研究所名誉教授。1931年生まれ。主な著書に『新しい哲学: 前科学時代の哲学から科学時代の哲学へ』(培風館 1967), 『科学時代をどう生きるか: 科学と科学でないもの』(講談社現代新書 1967), 『論理学史』(岩波全書 1983), 『思想としての動物と植物』(八坂書房 1994), 『思想の中の数学的構造』(ちくま学芸文庫 2006)、主な翻訳書にライプニッツ『中国学』《ライプニッツ著作集 第1期 10》(工作舎 1991) などがある。

BEST20注文一覧表 2020年7月末集計より *ISBNは頭に978-4-87502がつきます。

	書名	ISBN	著者	本体	冊数	書店印
1	平行植物	435-4	L・レオーニ	2200円		
2	江戸博物館 菜樹の巻	485-9	工作舎=編	1600円		
3	賢治と鉱物	438-5	加藤碩一+青木正博	3200円		
4	精神と物質	305-0	E・シュレーディンガー	1900円		
5	地球外生物学	515-3	倉谷 滋	2000円		
6	女王の肖像	513-9	四方田犬彦	2500円		
7	タオ自然学	108-7	F・カブラ	2200円		
8	江戸博物館 菜樹の巻	485-9	工作舎=編	1600円		合計注文冊数 冊
9	江戸博物館 鳥の巻	480-4	工作舎=編	1600円		条件
10	地方に社会システム産業をつくる	518-4	玉田 樹	2600円		
11	インプロヴィゼーション	222-0	D・ベイリー	2300円		
12	植物の神秘生活	133-9	P・トムキンズ他	3800円		ご担当 様
13	近未来モビリティとまちづくり	500-9	安藤 章	1400円		月 日発注
14	人間人形時代	128-5	稲垣足穂	2200円		
15	茶室とインテリア	388-3	内田繁	1800円		
16	江戸博物館 魚の巻	486-6	工作舎=編	1600円		
17	しめかざり	488-0	森 須磨子	2500円		
18	ムーン・トラックス	461-3	タイガー立石	3800円		
19	アインシュタイン、神を語る	464-4	ウィリアム・ヘルマンズ	2200円		
20	花の知恵	202-2	M・メーテルリンク	1600円		

倉谷さん8/5 NHK Eテレ 又吉直樹のヘウレーカ!ご出演

2020.6 郵便文献特別表彰

『政経往来』8・9月号、『世界と日本』5・6月号にて紹介

アメリカの書店で人気!

海外文学 ご担当者様



レオ・レオーニ 平行植物 新装版 ネットで話題!

絵本『スイミー』の作者が育んだ架空の植物が、学術的体裁で書きあげられる。自然が芸術を模倣するのか、芸術が自然を模倣するのか……? 幻想の庭・想像の山野に繁茂する数奇な植物たちの博物誌。2020年10月24日~2021年1月11日に板橋区立美術館「だれも知らないレオ・レオーニ展」にて平行植物をモチーフにした作品〈幻想の庭〉が展示予定!



工作舎
 出版営業部
 〒169-0072
 新宿区大久保2-4-12
 新宿ラムダックスビル12F
 phone:03-5155-8940
 fax:03-5155-8941
 saturn@kousakusha.co.jp
 www.kousakusha.co.jp